

もう少しちゃんと評価ということを学びたい」

「行政評価ということがすごく言われていて、今いろんな県で、いろんなやり方でやっている。いろんな地域で施行された、行政評価の、例えば用紙とか形式とか過程とか、そういった現場の部分の情報や(先進)モデルみたいなものを教えてもらえると、参考にしながら、自分に合わせて考えたり、つくったりできると思う」

3) 地域づくり、保健計画・政策策定のための実践理論を深め応用する技術

現場では、保健計画策定、政策形成やその支援方法を試行錯誤している。講義でいくつかのモデル理論を学んだが、実践するまでには至らない。実際に事例としての地区を選定して1つの理論だけでも時間をかけて学ぶ必要性が述べられた。

「1つの授業が全部PCMとか1個ずつが独立して実際にやってみるくらいでもいいかもしれない。結局、授業の結論は、こんな手法があるのを知っていて、相談があったときに、提案したり、選べたりくらいまで。実際には、やらないとわからないし、その形がピタッと当てはまることってないから」

「手法は後から理論化して手法に組み立てたものであって、結局わからずにやってきたのを理論化すると、そういうふうになったという。だから、このときは、次のステップはとか、これはどう考えるかなんていうのは後から学術的にやっているだけだから、その場その場で言えることは、みんな考えなさい、なのよ」

「先行して進めた行政なり人や先生たちは、できるだけ普遍化できるようにと頑張っているんだけど、余りモデルに縛られると、2度と同じことは、同じ住民でさえもならないから、やっぱり考えなさい、一緒に考えなさいという答えだったと思う」

「こんなモデルがあるという、まず提示が

あって、その中で自分が、今の現状だとこれが当てはまりそうだとするところまで考えられるトレーニングで、少し自分でやってみたり、先行のものを試してみたり評価するという話し合いなど、モデル理論だけをやるとはなくて、それを使ってどういうふうに考えたらいいかというような研修があればいい。モデル理論を知ったり、先行のものをいかに自分がアレンジするかというようなトレーニングをやれるといい。手持ちがあれば自分でどうにでも活用できるが手持ちがないからわからない」

4) 公衆衛生に関わる法律を学ぶ重要性

時代の変化に伴い、公衆衛生に係る法律が大きく変化している。その変化を学ぶと共に、法律の形成過程を学ぶ必要性が述べられた。

「政策というところから、どうして保健医療にかかわる政令とか法律とかができたかという、その過程を聞いたことがない。政策決定がされるまでの過程も聞きたかった」

「エイズの立法化やBSE、SARSの動向などの政策化の話が聞きたかった」

「医療法の変化や介護保険の改定など、担当している人の基本的なデータなど、立法と改定なども聞きたい」

5) 行政経営・経済学の必要性

行政評価のなかでも対費用効果が厳しく言われており、保健だけでなく経済という視点、経営感覚を学ぶことの重要性が述べられた。

「行政の中でも経済的なこととして、これだけの費用を使って、疾病をどれだけ減らせるのか。何もしなくてもそんなに減らないのかなどを精査するというような部分。もう少し行政経済、行政の中の経済のようなことがあって良いのではないかと」

「何が整ってないと経営は成り立たないなど基礎的なところでもあればよかったと思

う。国が出す要綱には、だれでもこの事業をやれると書いてあるが、実は財力の安定している法人などでないとやれないものということがわかって、これは経営感覚がないと自治体も手をつけられないと思った。そういうところがもう少し知りたかった」

6) アクチュアルな健康課題に関する講義の必要性

今話題の健康課題に対して、いくつかのテーマが挙げられた。具体的には「キレる子・閉じこもり」「境界型人格障害」等メンタルヘルスの課題や、ジェンダーと医療の関係、福祉との連携の課題、研究手法で特に質的研究などのアクチュアルな課題を取り上げてほしいという意見が述べられた。

「きれいな子供とか、虐待の親子の例とか、最近地域やニュースで問題になっていることについて、どんな予防ができるのか、どんな仕組みがあると、今いる人も救われるのかを考えるような、精神保健の分野を今に合わせてやってほしい」

「ジェンダーと医療の関係を知りたかった。女性外来とか、今そういう視点が一般的に出てきているので必要かなと思った」

「保健と福祉が統合された後、保健と福祉でどう連携をしながらやっていくかというようなことは、各自治体が模索しながらやっていくところでもあるだろうが、どんなあり方でやっていけばいいのかなというところを取り上げて欲しかった」

「質的研究の方法も教えてもらえるといいかなと思った。そのベースを教えてもらって、そこから、いろいろ自分で応用をきかせていけると思う」

「社会調査でも、質や量について講義であるけれど、例えば看護系やそのほかの分野でも、それぞれの質の考え方があって、それに当てはめなくてはいけないんだと思いがちになってしまった。グループインタビューを自分でやって、調べていく中で、い

ろんな考え方があって、たまたま私が出会ったのはこれであるということに気づいた。いろいろある中で自分はどれを選んでいけばいいのかということについて学べればいいと思う」

3. より効果のある研修展開への提案

1) 学びたい内容や方法、講師などを学生が企画

自分たちが現場で感じた課題を解決するような講義を企画し、それを積極的にPRして参加者を募るという方法が挙げられた。

「先生に、こういう講義が欲しいと要望したら、頼んでくれた。会議におけるプレゼンテーションもみんなの意見を聞いて決まった」

「グループワークが適していることと講義が適したことがある。グループワークで内容を詰めて、こういう先生がこういう講義をするということが決まり、希望者は受けられるというふうすれば選択の余地は広がる」

2) 健康課題への具体的な対応の手がかりになる講義と討論の開催

その時代特有の健康課題や、問題意識として持っているテーマに対して、先駆者の講義や事例に関する討議等をとおし、答えは出なくとも具体的対策の手がかりになるような教育内容の重要性が述べられた。

「現状に対応できるような内容を、専門家の話を一方的に聞くのではなく、結論は出なくてもディスカッションできる授業があるといい。保健と福祉の統合でも、今現場では統合されているが、そこにどんな課題が出てきているのかを明確にして、どうしていったらいいのかというのをディスカッションできるような授業があると嬉しいと思う」

「知識は何年か後には古くなる。自分たちでディスカッションすれば、課題にどうアプローチをして、どう考えていけばいいのかというトレーニングにもなる」

「そのテーマの巨匠みたいな人や取り組んでいる先駆的な人が来て、テーマも、本当に現場での課題を取り上げてディスカッションするのが良いと思う」

「鳥瞰図的な視点と、虫瞰、虫みみたいな視点と、自由に行ったり来たりしつつ、とらえるみたい。現場感覚、常にアンテナを張っていないと、私たちのような現場で動いている専門職はやっていけないと思う。そのときにどんなことを学ぶかという、答えを出すというよりも、いろんなアイデアとか、これだといけるかもしれないというような、ちょっとした手ごたえとかヒントが得られるような授業があるとおもしろいと思う」

「いろいろある中で自分はどれを選んでいけばいいのかというところについて学べばいいのだろうが、時間は限られているので、厳しいとは思う」

3) 学びを保障する柔軟な教育システム作り
科学院のカリキュラムで、取りたいのに時間が重なっていて取れない講義があったり、入った当初に何を取るべきか単位を選ぶことのは難しいという意見が述べられた。このことから、必要と思えば年度中でも聴講できたり、柔軟な対応ができる教育システムの必要性が述べられた。

「現場に戻って、いろいろ聞いておけばよかったと、意外と後悔した。しかしそれは自分の取り組みの姿勢だから、仕方ないけれど、必修と選択としちゃうと、こういう怠ける人間がいるから、(事前に必要な授業を)当てはめてあげていくと、後で役立つかなと。ただ、それを自分で判断するところに、きっとまた意味があると思う」

「受けたい科目が重なっていた。どっちをとるか判断するとき、へんな理由で選択したのもあったが、私にはこっちが大事だからと無理に納得して選んだ。重ならないように」

「受ける講義を最初に決めるのが難しい。

入学時点で大事だと思うことと、卒業してから実際に苦しむこととの判断がつけられない」

D 考察

公衆衛生業務に従事する専門職員には、時代の要請に伴い変化する健康課題に対し、これまで以上にそれを解決するための能力が求められている。そのための具体的によどのような能力の形成が必要かについては、いくつかの研究や報告書でも言われているところである⁴⁻⁵⁾。近々では、平成15年10月10日付けの厚生労働省健康局長通知による「地域における保健師の保健活動について」においても、保健師の資質向上を図るために、現任教育、自己啓発の奨励を挙げている⁶⁾。そのなかでも平成12年度地域保健総合推進事業による保健専門技術職員の効果的活用に関する専門委員会報告書には、自治体の保健専門技術職員が開発すべき能力として、①地域実情を分析し、明確な課題を抽出する能力、②今の地域課題の構造と将来の挑戦的課題から目的を設計する能力、③目的から俯瞰する能力、④評価可能な目標(期限・尺度・水準)を設定する能力、⑤評価データ入手法を明確にする能力、⑥目的・目標・手段が連鎖し、因果関係を明確に示す能力、⑦目的に対して妥当性のある手段を選択する(手段の選択基準が明確である)能力、⑧実施に対して態勢を明示する能力、⑨評価後の改善システムを明示し、改善によって業務を高度化する能力、⑩サービスの受け手の立場で表現し、サービスの受け手と合意形成する能力の10項目を挙げている⁵⁾。

今回の研究は、様々な形で展開されている現任者の卒後教育のなかで、科学院における現任者教育がそれをどのように補完しているかについて、その効果や改善点等を明確にしたものである。結果からは、長期研修において学ぶことで得た様々な最新の知識、考え方や価値観の変化、課題を解決する手段としての方法を身に付けることができ、また研修前より公衆衛生の俯瞰的な視点と住民の生活者としての視点とをバランスよく持つことができている状況がうかがえた。このことから、科学院における卒

後教育の補完機能は充分果されているという結論を得た。

また職場復帰後の経験をとおり、必要と感じた教育内容やより効果的な教育内容につなげるための提案も示された。特に専門家から最新の知見を得る講義も重要では在るが、より実践力を強化する能力の形成が必要なことが明確になったと考える。例えば従来から行われていたプレゼンテーションやモデル理論の講義も、単に知識としての理論や知識を得るだけにとどまらず、地域で感じた具体的な健康課題をテーマに専門家をアドバイザーとしてディスカッションすることで答えや結論はでなくても何らかの解決への糸口やヒントが得られるような内容や、また、自分たちが持つ問題意識にあわせて講師を選定し、内容を企画PRし、参加者を募って開催する方法などが提示された。これらは、従来も学生からの提案により各教官との話し合いで行われたことはあったかもしれないが、科学院における教育システムの特徴として企画するのも有意義ではないかと考えられた。

これまで科学院の教育体系には、大学院教育に概ね該当するものとして、専攻・専門・研究の3課程を含む長期課程があった。このうち専攻課程は、保健医療等に関する総合的かつ高度の知識及び技能を授けることを目的としており、旧国立公衆衛生院時代には看護、保健、環境の3コースが設けられていたが、現在はその区分をなくしている。修了者には Dip. P. H (Diploma in Public Health) の認定証が授与され、専門課程への入学資格が得られていた。しかし、自治体の財政上の問題から派遣職員が減少し、また得られる資格も Dip. P. H の認定証のみであることから、平成17年度からは、専攻課程の1年間を今後は専門課程とあわせて1年とし、修了者には M. P. H (Master of Public Health) の認定証を授与し、研究課程への入学資格が得られるような教育体系への移行が検討されている。

科学院における長期研修は、OFF-JOB-TRAINING の代表的なものであり、その現任教育を担う役割は大きい。一方、医科系大学における公衆衛生大学院や、いまや100校以上に増加した看護系大学での

大学院教育など、高等教育機関での社会人教育も行われるようになってきている。時代の要請に伴う専門技術職へのニーズの変化は、現任者の卒後教育内容に多大な影響を与える。科学院も高等職業人養成教育機関として、いかに現任者の卒後教育の補完機能を高めていけるか、前述した医科系大学における公衆衛生大学院や、看護系大学での大学院教育など、高等教育機関との単位互換や、人材交流なども今後の課題といえる。

加えて、長期研修は現任者の卒後教育としては効果があるが、派遣者が人員削減や予算等の関係から減少していることや、長期研修に伴う人的・コスト的な不利益というデメリットもある。これからは、より多くの公衆衛生従事者が受講できるような、短期の研修プログラムや遠隔教育の充実も必要と考えられた。

E. まとめ

グループインタビューによる調査・分析を行い、現任者が国立保健医療科学院の長期課程を修業後、そこで学んだ内容が卒後教育としての補完性をどの程度持つものであるかについては、長期研修において学ぶことで得た様々な最新の知識、考え方や価値観の変化、課題を解決する手段としての方法を身に付けることができ、また研修前より公衆衛生の俯瞰的な視点と住民の生活者としての視点とをバランスよく持つことができている状況がうかがえた。このことから、科学院における卒後教育の補完機能は充分果されているという結論を得た。

また職場復帰後の経験をとおり、改めて必要と感じた教育内容やより効果的な教育内容につなげるための提案も示された。

具体的な内容については、下記のとおりである。

1. 長期研修で学ぶことで得られた成果

- 1) 基礎的な概念や最新の知見が現場で無意識に学ぶ姿勢・応用・実践力に結びつく
- 2) 多彩な分野との協働の方法がわかる
- 3) 必要な情報の引き出し方とネットワークの広がり
- 4) 調査研究の実践力が身につく

5) 「公衆衛生の従事者」の視点がより鮮明になる

6) 修業後も学ぶ意欲の形成につながる

特集行政に働く保健師の腕の磨きどころと磨き方 保健師ジャーナル 60(2):2004

2. 職場復帰後、研修中に必要と感じた具体的教育内容

- 1) プレゼンテーションの力量形成
- 2) 行政の視点から見た評価の方法
- 3) 地域づくり、保健計画・政策策定のための実践理論を深め応用する技術
- 4) 公衆衛生に関わる法律を学ぶ重要性
- 5) 行政経営・経済学の必要性
- 6) アクチュアルな健康課題に関する講義の必要性

3. より効果のある研修展開への提案

- 1) 学びたい内容や方法、講師などを学生が企画
- 2) 健康課題への具体的な対応の手がかりになる講義と討論の開催
- 3) 学びを保障する柔軟な教育システム作り

今後はこの結果を長期研修システムに取り込み、より効果的な卒後教育システムとして充実させることが重要である。

参考・引用文献

- 1) 岩永俊博 国立保健医療科学院の教育と研修体系 保健医療科学 51(2):2002
- 2) 安梅勅江 ヒューマンサービスにおけるグループインタビュー法 医歯薬出版 2001
- 3) S. ヴォーン他 グループインタビューの技法 慶応義塾大学出版会 1996
- 4) 田中平三他 公衆衛生専門家の養成・確保および資質向上に関する研究 平成12年度厚生科学研究 健康科学総合研究事業抄録
- 5) 平成12年度地域保健総合推進事業 保健専門技術職員の効果的活用に関する専門委員会報告書 「新しい時代に対応する保健専門技術職員」 2002
- 6) 平成15年10月10日付 厚生労働省健康局長通知「地域における保健師の保健活動について」
- 7) 平成16年度国立保健医療科学院入学案内
- 8) 野村陽子 現任教育のこれからの方向性

厚生労働科学研究費補助金(がん予防等健康科学総合研究事業)
分担研究報告書

米国における公衆衛生従事者の養成制度

分担研究者 曾根 智史 (国立保健医療科学院 公衆衛生政策部)

研究の概要:

インターネットに公開されている米国公衆衛生大学院の情報に基づいて、米国の公衆衛生従事者の高度専門教育の最近の状況を調査した。

その結果、専門職業人(Professionals)を養成する Master of Public Health(MPH)のコースと、研究者(Academician)を養成するための Master of Science のコースとを分けているところがあった。さらに、Master of Science では、修士論文を要求されるが、MPH では、一定水準を満たした Report や 15~20 ページの Concentration Paper、Special Study Project、または Literature Review などが求められる例も多かった。

我が国においても、学校教育法の規程の中に専門大学院の制度が導入されているが、米国において発展している MPH の教育の形態は、日本においてははじめられた文部科学省の専門大学院の制度が目的としているところをすでに実現しているといえ、専門家教育研修のあり方として参考にできるところが大きい。

研究協力者

山本弘史

(国立保健医療科学院国際協力室長)

いる ASPH 加盟の公衆衛生大学院(School of Public Health)において授与している学位は、別表のとおりである。

その教育の基幹となるのは修士課程(Master Course)であり、情報を公開している 32 校すべてが、MPH(Master of Public Health)を授与している。

多くの大学は、複数の専攻コースを設けている。

カリフォルニア大学ロスアンジェルス校は、Master of Public Health については、Professional のための School Degree であるとする一方、Master of Science については、Academic のための Department Degree であると明確に区分しており、前者については、修了要件として一定水準を満たした Report は要求するが、Thesis は要求していないが、後者について要求している。

また、ジョージワシントン大学公衆衛生大学院についていえば、①地域プライマリケア、②ヘルスプロモーション、③環境・労働衛生、④生物統計、⑤疫学、⑥保健情報、⑦健康政策、⑧国際保健(ヘルスプロモ

A 研究目的

我が国の公衆衛生分野の卒後専門教育研修のあり方を考える上で、近年、種々の改革が行われている諸外国の実情は非常に有益な情報であると考えられる。本調査では外国の公衆衛生大学院(Public Health School)がどのような教育をやっているのか、インターネット上に公開されている情報に基づき調査を行った。

B 研究方法

前年度と同様に、インターネットに公開されている米国公衆衛生大学院の情報に基づいて、米国の公衆衛生従事者の高度専門教育の最近の状況を調査した。

C 結果

1. 授与する修士号

米国の公衆衛生の高度専門教育を担って

ーション)、⑨国際保健(保健政策)、⑩母子保健の10コースであるが、このいずれの専攻を修了しても授与される学位は MPH である。一方、同大学では、専門職業人(Professionals)を養成する MPH のほかに、研究者(Academician)を養成するための Master of Science のコースを設けている。後者については、修了に際して研究論文(Thesis)を完成することが義務づけられている。

2. MPH コースのカリキュラム

MPH コースの編成について、カリキュラムをインターネットに公開している 11 大学について特徴をみると、次のとおりである。

①Boston 大学公衆衛生大学院

コアカリキュラムとして大学院共通に 48 単位を Environmental Health, Health Services, Health Law, Epidemiology, Biostatistics, Social & Behavioral Sciences をカバーして取得する上に、学科別に 16 単位の専門科目を取得し、さらに 15~20 ページの Concentration Paper を作成することが求められる。修士論文は要求されない。

②Emory 大学 Rollins 校公衆衛生大学院

コア・コースとして、Behavioral Sciences, Biostatistics, Environmental Health, Epidemiology, Health Care Systems をカバーして 42 単位を取得、さらに専門学科別に 23~28 単位を取得し、この専門科目の中に、Special Study Project /Thesis/Literature Review が含まれる。

すなわち、修士論文に替えて、Special Study Project または Literature Review によることが認められる。

③George Washington 大学公衆衛生大学院
Biological Basis of Public Health, Internatinal Health を必修のうえ、コアカリキュラム及び専門科目から 36 単位を取得。修士論文は不要。

④Harvard 大学公衆衛生大学院

40 単位取得を要するうち、Ethics in Public Health, Practice Course, Biostatitics, Epidemiology, Environmental Health, Health Service Administratioin, Social and Behavioral Sciences が Core Requirement となり、その他専門科目を履修する。修士論文は要しない。

⑤Loma Linda 大学公衆衛生大学院

61 単位を Core Course 及び選択科目から取得。修士論文は要しない。

⑥Yale 大学公衆衛生大学院

60 単位中 26 単位が Core Curriculum とされ、Thesis すなわち修士論文は必修である。

⑦Alabama 州立大学 Birmingham 校公衆衛生大学院

コア 18 単位のほかに、専門科目の履修が必要。修士論文は要しない。

⑧Tulane 公衆衛生・熱帯医学大学院

45 単位、ただし、保健分野の学士には 36 単位。School Core Curriculum, Department Core Curriculum, 選択科目のなかから履修。修士論文は要しない。

⑨Iowa 州立大学公衆衛生大学院

43 単位を取得。修士論文は不要。

⑩ニューヨーク医大公衆衛生大学院

45~46 単位の中で、修士論文を要する。

⑪Washington 州立大学公衆衛生大学院

63 単位取得を要するうちに、修士論文が

9～12 単位必修として含まれる。

以上のように、共通点としては、幅広い専門性をもつ高度職業人を養成するため、コアカリキュラムの取得を義務づける教育システムをとることがあげられる。一方、修了のために修士論文の執筆を要求するかどうかについてみれば、多くの大学院では不要とし、それに代替するレポートなどの提出を求めるなどによっている。

D 考察

我が国においても、学校教育法の規程の中に専門大学院の制度が導入され、通常の大学院修士課程は、「高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養う」こと

を目的とすると規程されているの対して、専門大学院については、高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を専ら養う」ことを目的とすると規定した上、通常の修士課程については、「修士論文の審査及び試験に合格」することを要件としているのに対して、専門大学院では、「特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格」することを修了要件としている。

米国において発展している MPH の教育の形態は、日本においてははじめられた文部科学省の専門大学院の制度が目的としているところをすでに実現しているといえ、専門家教育研修のあり方として参考にできるところが大きい。

参考資料 大学院設置規則(文部科学省) (修士課程)

第三条 修士課程は、広い視野に立つて精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うことを目的とする。

(修士課程の修了要件)

第十六条 修士課程の修了の要件は、大学院に二年(二年以外の標準修業年限を定める研究科、専攻又は学生の履修上の区分にあつては、当該標準修業年限)以上在学し、三十単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該大学院の行う修士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、大学院に一年以上在学すれば足りるものとする。

(専門大学院)

第三十一条 大学院には、高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を専ら養うことを目的として、特に必要と認められる専攻分野について教育を行う修士課程を置くことができる。

2 前項に規定する修士課程を置く大学院は、当該修士課程に関し、専門大学院と称することができる。

(課程の修了要件の特例)

第三十五条 第三十一条第一項に定める修士課程に対する第十六条の規定の適用については、同条第一項中「修士論文の審査」とあるのは「特定の課題についての研究の成果の審査」と、同条第二項中「特定の課題についての研究の審査をもつて修士論文の審査に」とあるのは「修士論文の審査をもつて特定の課題についての研究の審査に」とする。

NO	Name of School	MPH	MSe	Other Masters Courses	DSc	PhD	DRPH	Dual Degree	Others	Note
1	Boston University School of Public Health	8 concentrations Biostatistics/Environmental Health/Epidemiology/Health Law/Health Services/International Health/Maternal and Child Health/Social and Behavioral Sciences	Epidemiology/Health Services Research		Epidemiology/Environmental Health Sciences/Health Services Research			MD/MPH, MSW/MPH, MBA/MPH, MD/MPH, MA/MPH		
2	Columbia University Mailman School of Public Health	6 concentrations Biostatistics/Environmental Health Sciences/Epidemiology/Health Policy and Management/Population and Family Health/Sociomedical Sciences	Biostatistics/Epidemiology			Biostatistics/Epidemiology/Environmental Health Sciences/Sociomedical Sciences	Biostatistics/Epidemiology/Environmental Health Sciences/Sociomedical Sciences	MD/MPH, DDS/MPH, MSN/MPH, MSOT/MPH, MBA/MPH, MIA/MPH, MP/AMPH, MSW/MPH, MSUP/MPH		
3	Emory University Rollins School of Public Health	6 concentrations /3 Special Program* Behavioral Sciences and Health Education/Biostatistics/Environmental and Occupational Health/Epidemiology/Health Policy and Management/International Health	Public Health/Public Health Informatics/joint program in Environmental and Occupational Health and Epidemiology			Biostatistics/Epidemiology/Program in Nutrition and Health Sciences		MBA/MPH, MSN/MPH, JD/MPH	CRCAM/MSCR	*MPH/Peace Corps/Master's International Program, MPH Certificate in Russian and East European Studies, MPH in Global Environmental Health
4	George Washington University School of Public Health and Health Services	10 concentrations Community Oriented Primary Care/Disease Prevention-Health Promotion/Environmental and Occupational Health/Biostatistics/Epidemiology/Health Information Systems/Health Policy/Health Promotion/Health	Exercise Science/Health Policy	Master of Health Systems Management/Master of Health Systems Management-Health Policy		Biostatistics/Epidemiology	2 concentrations	MD/MPH,	Health Services Administration Concentration in MBA, Physician Assistant/MPH	
5	Harvard School of Public Health	7 concentrations Clinical Effectiveness/Family and Community Health/Health Care Management/International Health Law and Public Health/Occupational and Environmental Health/Quantitative Methods		Master of Health Care Management		Biological Science in Public Health				
6	Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health	0	0	Master of Health Sciences(4 concentrations)	0	0	0	MD/MPH, MD/Doctoral Degree, MSW/MPH, MSN/MPH, JD/MPH, MAMHS,		
7	Loma Linda University School of Public Health	10 concentrations Biostatistics/Community Wellness/Environmental Health/Epidemiology/Generalist/Health Administration/Health Education/International Health/Maternal and Child Health	Biostatistics	Master of Health Administration			Epidemiology/Health Education/International Health/Nutrition/Preventive Care			
8	Ohio State University School of Public Health	5 concentrations Biometrics/Epidemiology/Environmental Health Sciences/Health Behavior and Health Promotion/Health Services Management and Policy	Biometrics/Epidemiology/Environmental Health Sciences	Master of Health Administration		Biometrics/Environmental Health Sciences/Epidemiology/Health Behavior and Health Promotion				
9	Saint Louis University School of Public Health	5 concentrations and 2 joint concentrations Behavioral Sciences and Health Education/Science and Epidemiology/Biostatistics/Environmental and Occupational Health/Epidemiology/Biostatistics and Epidemiology/Environmental Health		Master of Health Administration		6 concentrations		MHA/JD, MHA/MBA, MPH/JD, MPH/MSW, MPH/MSN, MPH/MSD, MD/MPH		
10	San Diego State University Graduate School of Public Health	5 concentration Biometry/Environmental Health Sciences/Epidemiology/Health Promotion and Behavioral Sciences/Health Services Administration	Environmental Health Sciences/Industrial Hygiene/Toxicology	MPH specialization in Public Health Management		Epidemiology		MPH/MSW		
11	Texas A&M School of Rural Public Health	7 concentrations Epidemiology/Biostatistics/Environmental & Occupational Health/Occupational Safety & Health/Health Policy & Management/Social & Behavioral Health/Community Public Health & Management	MSPH in Epidemiology/Biostatistics/Environmental & Occupational Health/Health Policy & Management/Social & Behavioral Health	Master of Health Administration		Health Services Research	0			
12	Tulane University School of Public Health and Tropical Medicine	7 concentrations Biostatistics/Community Health Sciences/Epidemiology/Environmental Health Sciences/Health Systems Management/International Health and Development/Tropical Medicine	Biostatistics	MSPH, MIHSM, MPH&TM,	Biostatistics/Environmental Health Sciences/Tropical Medicine	Biostatistics/Epidemiology/International Health and Development/Tropical Medicine	Community Health Sciences/Epidemiology/International Health and Development	MD/MPH, MPH/MSW		
13	University at Albany SUNY School of Public Health	6 behavioral science/community health, biomedical sciences, biostatistics, environmental health, epidemiology, or health administration	Biomedical Sciences/Biometry and Statistics/Environmental Health and Toxicology/Epidemiology/Health Policy, Management and Behavior			Biomedical Science/Biometry and Statistics/Environmental Health and Toxicology/Epidemiology/Health Policy, Management and Behavior	behavioral science/community health/biostatistics/biomedical sciences/environmental health/epidemiology/health administration			
14	University of Alabama at Birmingham School of Public Health		Biometry/Environmental Health Sciences/Epidemiology/International Health/Public Health Nutrition/Epi&H/Health Behavior/Behavioral Sciences/Health Care Organization/General Theory and Practice	Biostatistics/Epidemiology/	MEHS, MSPH,	Biostatistics/Environmental Health Sciences/Epidemiology/Health Education and Health Promotion/	Environmental Health Sciences/International Health/Public Health Nutrition/Maternal and Child Health/	MPH/MSN, MPH/PhD, MPH/JD, MPH/MBA, MPH/JOD, MPH/MPA, MPH/MPH, MSPH/PhD, MPH/MSW		
15	University of California at Berkeley School of Public Health		Aging/Biomedical Lab Sciences/Biostatistics/Environmental Health Sciences/Epidemiology/Management and Health Policy/Maternal and Child Health/Multicultural	Biomedical Lab Sciences/Environmental Health Sciences/Epidemiology		Aging/Biomedical Lab Sciences/Biostatistics/Environmental Health Sciences/Multicultural	Multicultural Health Studies	MA/MPH, MPH/MBA, MSW/MPH,		

NO	Name of School	MPH	MSc	Other Masters Course	DSc	PhD	DrPH	Dual Degree	Others	Note
16	University of California at Los Angeles School of Public Health	Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Health Administration /Health Education, Behavioral Sciences	Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Health Administration /Health Education, Behavioral Sciences			Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Health Administration /Health Education, Behavioral Sciences	Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Health Administration /Health Education, Behavioral Sciences		Doctor of Environmental Science and Engineering	
17	University of Illinois at Chicago School of Public Health	4 concentration Community Health Sciences /Environmental and Occupational Health Sciences /Epidemiology and Biostatistics /Health Policy and Administration	Community Health Sciences /Environmental and Occupational Health Sciences /Epidemiology and Biostatistics /Health Policy and Administration			Community Health Sciences /Environmental and Occupational Health Sciences /Epidemiology and Biostatistics /Health Policy and Administration	Community Health Sciences /Environmental and Occupational Health Sciences /Epidemiology and Biostatistics /Health Policy and Administration			
18	University of Iowa College of Public Health	4 focus area Aging /Clinical Investigation /Global Health /Nutrition and Exercise	Biostatistics /Community and Behavioral Health /Epidemiology /Industrial Hygiene /Occupational & Environmental Health	MHA		Addiction Studies /Biostatistics /Community and Behavioral Sciences /Epidemiology /Health Management and Policy /Industrial Hygiene /Occupational & Environmental Health		MD/MPH, MSN/MPH, MHA/MBA, MHA/JD, MHA/MA		
19	University of Massachusetts School of Public Health and Health Sciences	6 concentrations Biostatistics /Epidemiology /Community Health Education /Health Policy and Management /Environmental Health Sciences /Nutrition	Biostatistics /Epidemiology /Community Health Education /Health Policy and Management /Environmental Health Sciences /Exercise Sciences /Nutrition	MA in Communication Disorders		Biostatistics /Epidemiology /Communication Disorders /Community Health Education /Health Policy and Management /Exercise Science				
20	University of Medicine and Dentistry of New Jersey School of Public Health	10 concentrations Biometrics /Environmental and Occupational Health /Epidemiology /Health Education and Behavioral Sciences /Health Systems and Policy /Dental Public Health /Health Policy and Administration /Quantitative Methods /Biostatistics and	Biostatistics /Environmental Health Sciences /Occupational Health Education /Health Management and Policy			Biometrics /Epidemiology /Environmental and Occupational Health /Health Education and Behavioral Sciences /Health Systems and Policy	Biometrics /Epidemiology /Environmental and Occupational Health /Health Education and Behavioral Sciences /Health Systems and Policy	MD/MPH, MPH/MBA, PhD/MPH, MHA Nursing/MPH, MSN/MPH, BSM/MPH, DMD/MPH,		Dual degree programs are offered with other collaborative schools.
21	University of Michigan School of Public Health	5 concentrations Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Health Behavior and Health Education /Health Management and Policy	Biostatistics /Environmental Health Sciences	MHSA		Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Health Behavior and Health Education /Health Management and Policy	Environmental Health Sciences /Epidemiology	MPH/MA, MPH/MD, MPH/MA or MHA/MA, MPH/BA or BS, MHA/MA, MHA/MA/MS, MPH or MHA/JD, MPH or MHA/MPP, MS		
22	University of Minnesota School of Public Health	Biostatistics /Community Health Education /Environmental Health /Epidemiology /Maternal and Child Health /Public Health Administration /Public Health Nutrition /Public Health Practice	Clinical Research /Environmental Health /Health Services Research, Policy and Administration	Master of Arts in Health Journalism		Biostatistics /Environmental Health /Epidemiology /Health Services Research, Policy and Administration		JD/MS, JD/PhD, JD/MPH		
23	University of North Carolina at Chapel Hill School of Public Health	8 Departments have own MPH Programs. Biostatistics / Environmental Sciences and Engineering /Epidemiology /Health Behavior and Health Education /Health Policy and Administration /Maternal and Child Health /Nutrition /Leadership /Health Care and Prevention /Public Health Nursing	Biostatistics / Environmental Sciences and Engineering /Epidemiology /Nutrition Biochemistry /	MSPH, MSEE, Master of Healthcare Administration, M.SPH in MCH		Biostatistics /Environmental Sciences and Engineering /Epidemiology /Health Behavior and Health Education /Health Policy and Administration /Maternal and Child Health Services Research in Occupational Safety and Health	Biostatistics /Epidemiology /Health Behavior and Health Education /Maternal and Child Health /Public Health Leadership	MHA/MBA, MHA/MSIS, MHA/MSLS, MPH/DSS, MPH/JD, MPH/MD, MSPH/MSW,	Master's degree Concentration in International Health and Population (Dep (HPAA)	Executive Master's Plan in Health Policy and Administration (MPH in Management, MPH in Dental, MHA)
24	University of North Texas Health Science Center School of Public Health	7 concentrations Biostatistics /Community Health /Environmental Health /Epidemiology /Health Administration /Health Behavior /Health Services Research					Biostatistics /Community Health /Environmental Health /Epidemiology /Health Administration /Health Behavior /Health Services	DOMPH, DDS/MPH, MPH/MS, MPH/PhD,		
25	University of Oklahoma College of Public Health	Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Health Administration /Health Education, Behavioral Sciences	Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Health Administration /Health Education, Behavioral Sciences	MHA,		Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology	Environmental Health Sciences /Health Administration /Health Education, Behavioral Sciences			
26	University of Pittsburgh Graduate School of Public Health	Biomedical Lab Sciences /Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Health Services Research /Maternal and Child Health /Occupational Health /Public Health Practice	Biomedical Lab Sciences /Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Genetics	MHA, Master's degree in Health Promotion and Education		Biomedical Lab Sciences /Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Genetics	Biomedical Lab Sciences /Biostatistics /Epidemiology /Health Services Research	MPH/JD		
27	University of Puerto Rico School of Public Health									
28	University of South Carolina The Norman J. Arnold School of Public Health	Environmental Health Sciences /Epidemiology & Biostatistics /Health Administration /Health Promotion Education and Behavior /Public Health /Physical Activity and Public Health	Exercise Science /Health Promotion Education and Behavior /	Master's of Communicable Diseases, MSPH, MHA, MSPH/MAT		Environmental Health Sciences /Epidemiology & Biostatistics /Exercise Science /Health Administration /Health Promotion Education and Behavior /Speech Language Pathology &	Epidemiology & Biostatistics /Health Administration /Health Promotion Education and Behavior	MSN/MPH, MSW/MPH, MD/MPH		

NO	Name of School	MPH	MSc	Other Masters Course	DSc	PhD	DrPH	Dual Degree	Others	Note
29	University of South Florida College of Public Health	Community and Family Health /Environmental and Occupational Health /Epidemiology and Biostatistics /Health Policy and Management /Public Health Practice /Global Health		MSPH, MHA		Community and Family Health /Environmental and Occupational Health /Epidemiology and Biostatistics /Health Policy and Management		MPH/MSW, MS/MPH, MA/MPH, MA/PhD, PhD/MPH		9 Departments have several concentrations respectively
30	University of Texas School of Public Health	6 modules Community Health Practice /Disease Control Health Promotion/Health Education /Health Services Organization /International and Family Health /Occupational and Environmental Health, Aerospace Medicine	Behavioral Sciences /Biological Sciences /Biometry /Environmental Sciences /Epidemiology /Management & Policy Sciences			Behavioral Sciences /Biological Sciences /Biometry /Environmental Sciences /Epidemiology /Management & Policy Sciences	Community Health Practice /Disease Control /Health Education /Health Services Organization /International and Family Health /Occupational and Environmental Health, Aerospace			
31	University of Washington School of Public Health and Community Medicine	Biostatistics /General Environmental Health /Epidemiology /Nutritional Science /Public Health Genetics /Health and Policy Research /International Health /Maternal and Child Health /Social and Behavioral Sciences /Extended MPH in PH /Occupational and Environmental Medicine	Biostatistics /EH Technology /Industrial Hygiene and Safety /Toxicology /Epidemiology /Health Services /Pathobiology /Nutritional Science	MHA		Biostatistics /H&S Safety /Toxicology /Epidemiology /Health Services /Pathobiology /Nutritional Science				
32	Yale University School of Public Health	Biostatistics /Environmental Health /Chronic Disease /Microbial Diseases /Health Policy & Administration /Global Health	Biostatistics			Biostatistics /Environmental Health /Chronic Disease /Microbial Diseases /Health Policy & Administration	MD/MPH, MD/PhD, MSN/MPH, MBA/MPH, MA/MPH, MF/MPH, MFS/MPH, MES/MPH			
33	Drexel University School of Public Health	5 concentrations Biostatistics /Environmental Health Sciences /Epidemiology /Health Education /Behavioral Sciences /Management and Health Policy		Executive MPH				MD/MPH		
34	Indiana University School of Medicine Department of Public Health									
35	Mel and Enid Zuckerman Arizona College of Public Health	7 concentrations Biostatistics /Community Health Practice /Environmental and Occupational Health /Epidemiology /Family and Child Health /Health Administration and Policy /Health Education and Behavioral Sciences								60 concentration titles are available at the University of Arizona (UA), two are offered at Arizona State University (ASU), and one is offered at Northern Arizona University (NAU). Although students may be enrolled in the MPH Program primarily through ASU or NAU, the MPH degree is awarded by the UA.
36	New York Medical College School of Public Health	12 concentrations in 7 Divisions Behavioral Sciences and Health Promotion /Biostatistics /Developmental disabilities /Emergency Medical Service /Environmental Health Science /Epidemiology /Gerontology /Health Informatics /Health Policy and Management /International Health /Maternal and Child Health /Public Health	Biostatistics /Clinical Research Administration /Developmental Disabilities /Emergency Medical Services /Environmental Health Science /Epidemiology and Management /International Health /Physical Therapy /Speech Language Pathology					MS/MPH	Doctor of Physical Therapy	
37	University of Kentucky School of Public Health	5 Specialty Epidemiology /Environmental Health /Biostatistics /Health Enhancement /Health Services Management /				O	MD/MPH			

1. あなたの所属について、あてはまる数字を一つ選んで○をつけて下さい。
- ① 都道府県保健衛生主管部局 ②政令市等保健衛生主管部局 ③都道府県環境主管部局 ④政令市等環境主管部局 ⑤都道府県保健所 ⑥政令市等保健所 ⑦衛生・公害・食肉研究所等 ⑧その他（ ）
2. あなたの職種（資格）は何ですか。あてはまる数字を一つ選んで○をつけて下さい。
- ① 医師 ②歯科医師 ③獣医師 ④薬剤師 ⑤保健師 ⑥助産師 ⑦(管理)栄養士 ⑧環境衛生監視員 ⑨食品衛生監視員 ⑩放射線技師 ⑪臨床検査技師 ⑫事務職 ⑬その他（ ）
- 3 あなたの職位および職種についてお尋ねします。あてはまる数字を一つ選んで○をつけて下さい。
- 職位：①課長職級 ②係長職級 ③その他（ ）
- 職種：④技師職 ⑤事務職 ⑥その他（ ）
- 4 旧国立公衆衛生院の研修への派遣について伺います
- 4-1 あなたの自治体では国立公衆衛生院の長期課程（1年以上）のコースに職員（職種を問わず）を派遣していましたか。最近の約10年間であてはまる数字を一つ選んで○をつけて下さい。
- ① ほとんど毎年派遣していた ②2～3年おきに派遣していた
③ 4～5年おきに派遣していた ④ほとんど派遣していなかった
⑤ その他（ ）
- 4-2 短期課程（約1か月以内）の研修への派遣はいかがですか。最近の約10年間であてはまる数字を一つ選んで○をつけて下さい。
- ① ほとんど毎年なんらかのコースに派遣していた ②2～3年おきに派遣していた
③ 4～5年おきに派遣していた ④ほとんど派遣していなかった
⑤ その他（ ）
- 4-3 派遣元として保健医療科学院の長期課程の研修修了者に何を期待しますか。
- ① 専門領域の新しい知識や技術の向上
② 専門領域に限らない新しい知識や技術の向上
③ 実践指導者としての力量の向上
④ 行政的な力量の向上
⑤ その他（ ）
- 4-4 派遣元として保健医療科学院の短期課程の研修修了者に何を期待しますか。
- ⑥ 専門領域の新しい知識や技術の向上
⑦ 専門領域に限らない新しい知識や技術の向上
⑧ 実践指導者としての力量の向上
⑨ 行政的な力量の向上
⑩ その他（ ）

4-4 一般的にいて、派遣元として、「研修後に獲得が期待される能力」と「研修期間」とはどちらが優先されるべきだと思いますか

- ① 期待される能力
- ② 期間
- ③ どちらとも
- ④ その他 ()

4-5 一般的にいて、現実的には派遣元としては、「研修後に獲得が期待される能力」と「研修期間」とはどちらが優先されると思いますか

- ⑤ 期待される能力
- ⑥ 期間
- ⑦ どちらとも
- ⑧ その他 ()

4-6 今後職員を研修に派遣しやすい期間についてお答え下さい。研修の対象職種や研修内容などによって違いがあるかもしれませんが、一般的な考え方でお答え下さい。

- ① 1週間以内
- ② 2-3週間程度
- ③ 1月間
- ④ 2-3ヶ月
- ⑤ 3-6ヶ月
- ⑥ 1年間
- ⑦ その他

4-7 派遣しやすい研修の形態について、あてはまる数字を一つ選んで○をつけて下さい。研修の対象職種や研修内容などによって違いがあるかもしれませんが、一般的な考え方でお答え下さい。

- ① 国立保健医療科学院（埼玉県和光市）における研修
- ② 地域ブロック別に実施される出張研修
- ③ 郵便を使った通信教育（スクーリングあり）
- ④ インターネットを使った遠隔教育（スクーリングあり）
- ⑤ その他 ()

5 国立保健医療科学院の研修に派遣する際に障害となるものは何ですか。あてはまる数字すべてに○をつけて下さい。

- ① 財源不足
- ② 人員不足
- ③ 希望者がいない
- ④ 関係者に研修の必要性が理解されない
- ⑤ その他

6 派遣元が国立保健医療科学院の研修に期待するものは何ですか。あてはまる数字すべてに○をつけて下さい。

- ① 現場で即活用できる知識や技術
- ② 他職種とともに学ぶ機会
- ③ 厚生行政の最新情報
- ④ 受講生間の情報交換・ネットワークづくり
- ⑤ 論文のまとめ方
- ⑥ フィールド実習
- ⑦ 最先端で活躍している講師の講義(具体的内容:)
- ⑧ その他()

7 公衆衛生従事者に求められる技術について、派遣元が国立保健医療科学院の研修に期待するものは何ですか。あてはまる数字すべてに○をつけて下さい。

- ① 地域アセスメント/分析 ②活動・事業計画 ③評価 ④スーパービジョン/監査
- ⑤ コミュニケーション(健康教育、健康相談、プレゼンテーション、ネゴシエーション)
- ⑥地域社会開発(ネットワーク、コーディネート、合意形成の推進)
- ⑦調査研究方法 ⑧人材育成 ⑨政策開発 ⑩地域管理 ⑪財政計画
- ⑫その他()

8 国立保健医療科学院の研修に限らず、国レベルでの研修に対して、特に何を期待しますか。地方自治体レベルとの違いで期待することをお書きください。期待することはいくつでもお書きください。

期待すること

その理由

9 この調査票の回答はどなたかと相談しましたか

- 1. ほとんど担当者だけで答えた
- 2. 上司と相談しながら記入した。
- 3. 医師や保健師、栄養士など職種の主な人と相談して記入した
- 4. その他()

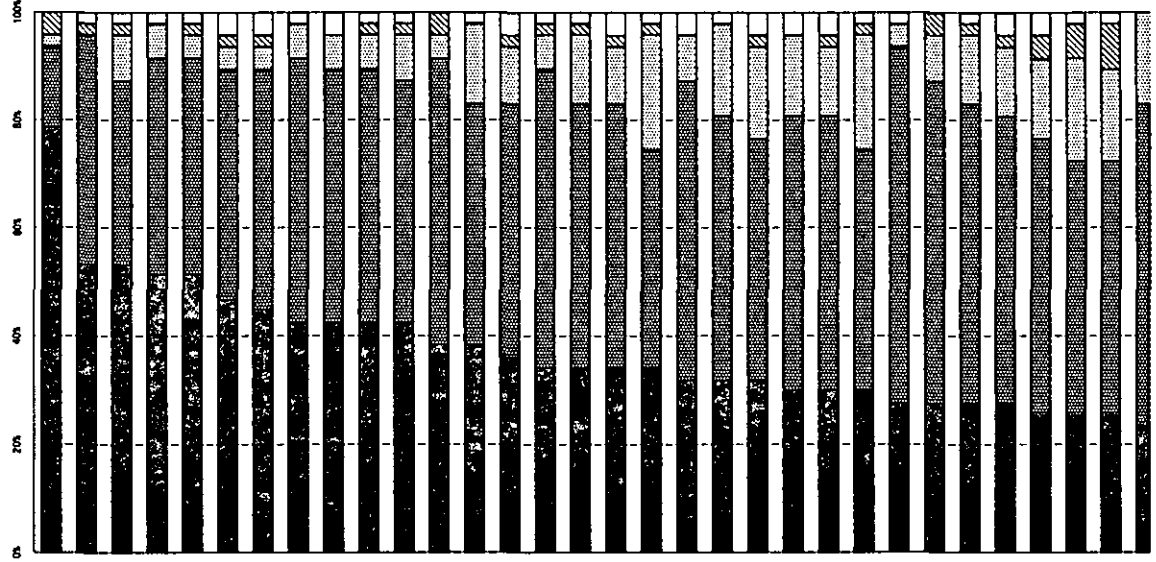
ご協力ありがとうございました。ご記入もれがないか、ご確認くださいませよう願いたします。

資料2: 研修内容優先度検討のための調査票および結果

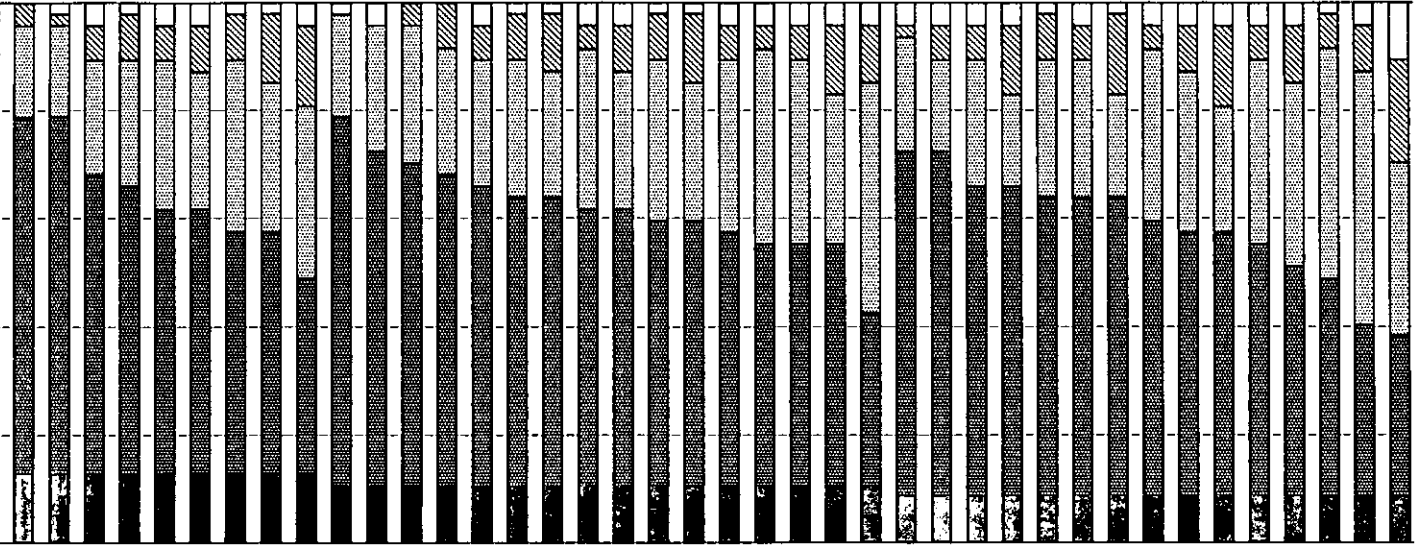
トップマネージャー(1回目)

科目内容	優先度	(%)				
		非常に重要	まあ重要	あまり重要ではない	ほとんど必要ない	無記入
健康危機管理	↷	78.7	14.9	2.1	4.3	0
予算のしくみと施策化の方法		53.2	42.6	0	2.1	2.1
ヘルスプロモーションの実践的理解と健康づくりの政策の転換		53.2	34	8.5	2.1	2.1
ヘルスプロモーション		51.1	40.4	6.4	0	2.1
市町村におけるヘルスプロモーション推進と保健所の役割		51.1	40.4	4.3	2.1	2.1
ヘルスプロモーション活動の評価		46.8	42.6	4.3	2.1	4.3
計画の評価		44.7	44.7	4.3	2.1	4.3
住民参加の健康づくり		42.6	48.9	6.4	0	2.1
公衆衛生政策論		42.6	46.8	6.4	0	4.3
新興・再興感染症		42.6	46.8	6.4	2.1	2.1
保健所長の実務		42.6	44.7	8.5	2.1	2.1
感染症対策概論		38.3	53.2	4.3	4.3	0
健康日本21		38.3	44.7	14.9	0	2.1
保健計画論		36.2	46.8	10.6	2.1	4.3
保健活動評価		34	55.3	6.4	2.1	2.1
結核感染症対策		34	48.9	12.8	2.1	2.1
保健所における精神保健活動		34	48.9	10.6	2.1	4.3
リーダーシップ論		34	40.4	21.3	2.1	2.1
EBHP		31.9	55.3	8.5	0	4.3
公衆衛生行政		31.9	48.9	17	0	2.1
主体的な健康づくり能力の開発支援		31.9	44.7	17	2.1	4.3
保健医療サービスの総合的質管理		29.8	51.1	14.9	0	4.3
保健計画・事業計画策定の実際		29.8	51.1	12.8	2.1	4.3
公衆衛生関連法規		29.8	44.7	21.3	2.1	2.1
保健サービスの経済学的评价		27.7	66	4.3	0	2.1
精神保健医療福祉活動の評価と計画的推進		27.7	59.6	8.5	4.3	0
産業保健と地域保健の連携		27.7	55.3	12.8	2.1	2.1
医療計画論		27.7	53.2	12.8	2.1	4.3
プライマリ・ヘルス・ケア		25.5	51.1	14.9	4.3	4.3
高齢化問題と痴呆疾患患者等への支援		25.5	46.8	19.1	6.4	2.1
市町村支援における保健師の役割		25.5	46.8	17	8.5	2.1

■非常に重要
 □あまり重要ではない
 □無記入

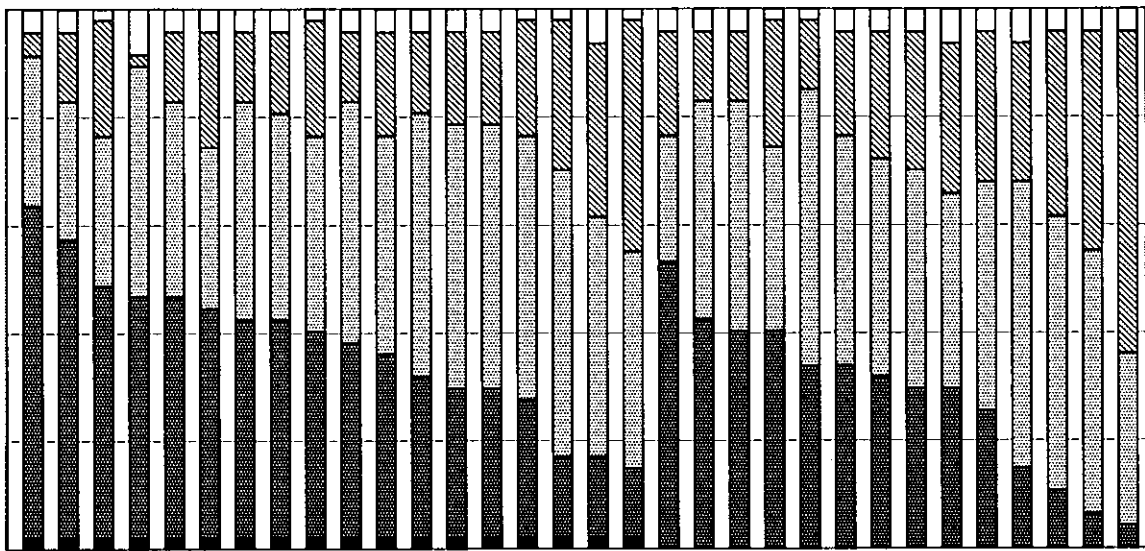


地方自治制度			23.4	59.6	17	0	0
参加型アプローチと調査法(PRA+/PLA,KAP等)			23.4	59.6	6.4	4.3	6.4
人材育成論			23.4	57.4	14.9	2.1	2.1
行政計画論			23.4	57.4	10.6	4.3	4.3
NGO/NPO活動としての地区組織活動			23.4	55.3	17	0	4.3
地区組織活動の現状評価と方向性検討			23.4	53.2	12.8	6.4	4.3
新しいニーズへの多様な支援 I (うつ病):産業保健との連携			23.4	51.1	14.9	6.4	4.3
EBMから見た生活習慣病対策			21.3	66	8.5	0	4.3
EBNに基づいた公衆栄養活動			21.3	63.8	10.6	2.1	2.1
福祉計画論			21.3	57.4	14.9	2.1	4.3
地域診断概説			21.3	53.2	12.8	8.5	4.3
新しいニーズへの多様な支援 I (ひきこもり)			21.3	51.1	14.9	8.5	4.3
地域ケアシステム構築における保健師の役割			21.3	46.8	23.4	6.4	2.1
公衆衛生史			21.3	42.6	31.9	4.3	0
介護保険制度			19.1	63.8	14.9	0	2.1
地域診断方法			19.1	63.8	8.5	6.4	2.1
行政学概論(5):地方分権と自治体行政			19.1	61.7	17	0	2.1
医療の現状と課題			19.1	61.7	17	2.1	0
生活習慣に起因する疾病への対策の潮流			19.1	61.7	12.8	4.3	2.1
精神科救急システムと連携			19.1	53.2	21.3	4.3	2.1
市民組織やNGO、NPO			17	66	14.9	2.1	0
情報倫理と法			17	59.6	17	4.3	2.1
CS(顧客満足)			17	53.2	23.4	6.4	0
新しいニーズへの多様な支援 I (注意欠陥・多動性障害)			17	48.9	21.3	8.5	4.3
地区組織活動に関する概念の再確認			17	48.9	21.3	8.5	4.3
医療保障制度			14.9	72.3	10.6	0	2.1
母子保健の動向と今後の課題			14.9	63.8	12.8	6.4	2.1
社会福祉制度			14.9	61.7	21.3	0	2.1
医療経済学			14.9	61.7	19.1	0	4.3
医事法規			14.9	59.6	21.3	2.1	2.1
地域精神保健医療福祉活動における専門職の役割			14.9	57.4	21.3	2.1	4.3
健康教育の基礎的理論と技術			14.9	57.4	14.9	8.5	4.3
老人保健福祉活動 老人保健医療			14.9	55.3	21.3	4.3	4.3
行政学概論(4):行政需要と行政サービス			14.9	53.2	27.7	2.1	2.1
事例検討のすすめ方			14.9	53.2	23.4	6.4	2.1
喫煙(対策)			14.9	51.1	27.7	4.3	2.1
人事管理論			14.9	51.1	23.4	8.5	2.1
実践事例の検討			14.9	51.1	17	12.8	4.3
思春期保健活動における地域・学校・医療・福祉の連携			12.8	76.6	6.4	4.3	0



思春期の若者の性の実態とその対策	12.8	66	17	4.3	0
行動科学概論	12.8	66	17	2.1	2.1
母子保健活動の考え方と方法	12.8	55.3	21.3	6.4	4.3
健康日本21・歯の健康	12.8	53.2	23.4	8.5	2.1
中高年のメンタルヘルス	12.8	48.9	27.7	6.4	4.3
現任教育のあり方	12.8	48.9	25.5	8.5	4.3
公衆衛生看護活動のあり方	12.8	44.7	31.9	8.5	2.1
医療・医事	12.8	44.7	27.7	12.8	2.1
性教育の方法	12.8	36.2	31.9	14.9	4.3
ソーシャル・マーケティング	10.6	68.1	19.1	0	2.1
社会保障制度	10.6	61.7	23.4	0	4.3
学校保健活動の今日的課題	10.6	59.6	25.5	4.3	0
質的研究の方法	10.6	57.4	23.4	8.5	0
健康と栄養・食生活	10.6	55.3	23.4	6.4	4.3
保健所での歯科保健活動	10.6	53.2	25.5	8.5	2.1
健康教育理論の体系と実践への適用	10.6	53.2	23.4	10.6	2.1
ストレス	10.6	51.1	29.8	4.3	4.3
新しいニーズへの多様な支援Ⅰ (アルコール)	10.6	51.1	25.5	8.5	4.3
母子保健と感染症	10.6	48.9	29.8	8.5	2.1
学ぶこと・教えること (学習理論)	10.6	48.9	25.5	12.8	2.1
運動	10.6	46.8	31.9	6.4	4.3
コーチング	10.6	44.7	36.2	4.3	4.3
休養	10.6	44.7	34	6.4	4.3
高齢者の特性	10.6	44.7	27.7	12.8	4.3
経営戦略	10.6	31.9	42.6	10.6	4.3
プロジェクト・サイクル・マネジメント	8.5	63.8	21.3	2.1	4.3
地域における精神障害者の生活上の障害とその支援	8.5	63.8	17	6.4	4.3
公衆栄養活動	8.5	57.4	23.4	6.4	4.3
歯科保健における地域診断	8.5	57.4	17	12.8	4.3
対人保健活動での保健婦の役割	8.5	55.3	25.5	8.5	2.1
地域活動の方法論の概論と比較	8.5	55.3	25.5	6.4	4.3
小児の発育・発達と事故防止	8.5	55.3	19.1	14.9	2.1
学校保健および思春期保健概論	8.5	51.1	31.9	4.3	4.3
栄養・食生活	8.5	48.9	29.8	8.5	4.3
小児の保健と環境条件	8.5	48.9	23.4	14.9	4.3
アルコール	8.5	46.8	34	6.4	4.3
思春期から老年期までの母性保健	8.5	42.6	34	10.6	4.3
経営管理概論	8.5	40.4	42.6	6.4	2.1
食生活と栄養士の活動	8.5	31.9	46.8	8.5	4.3

保健活動における行動療法の実践 一 体重コントロールを中心に一									
総合失調症および長期入院者への支援									
企画広報業務									
歯科疾患の原因とその対策									
学校における健康教育と心の健康									
医療体系からのアプローチ									
IEC(Information, Education and Communication)									
行政学概論(1):行政国家と現代行政の課題									
人事(職員厚生)業務									
地区活動の見直し									
世界の栄養問題と公衆栄養の課題・対策									
学童および思春期の健康管理									
ソーシャルワークにおける理論と技術									
医療ソーシャルワークの業務と役割									
公衆衛生看護学教育の現状と課題									
看護教育評価									
嗜癖と家族									
アタッチメントと発達臨床									
保健行動の基礎									
政治学からみた住民との協働									
学習理論と行動分析									
所得保障制度									
中小企業の産業保健活動									
保健医療セクター分析									
睡眠と生活リズム									
精神保健福祉士(精神科ソーシャルワーカーの業務と役割)									
保健社会学概論									
労働									
国際保健医療情報									
ソーシャルワークの今後の展開とケアマネジメントの概要									
公衆衛生看護管理者の役割									
公衆衛生看護の実践方法									
行政学概論(3):大部屋主義の組織管理と意思決定									
運営会議・委員会									
経理(財務・会計)									
児童生徒や保護者の「からだ」の理解の現状と問題点、									
保健医療専門職									
看護教育における実習指導									
授業過程における教師の機能と授業技術									



職場の健康管理システム	2.1	61.7	27.7	4.3	4.3
歯科疾患予防	2.1	55.3	25.5	12.8	4.3
研究的な視点による保健師活動	2.1	46.8	27.7	21.3	2.1
ヘルスケア・フアイナンスング	2.1	44.7	42.6	2.1	8.5
国際保健学総論	2.1	44.7	36.2	12.8	4.3
乳幼児の観察と発達臨床	2.1	42.6	29.8	21.3	4.3
現代青年の心理	2.1	40.4	40.4	12.8	4.3
食料消費・食料需給と消費者対策	2.1	40.4	38.3	14.9	4.3
庶務(総務)業務	2.1	38.3	36.2	21.3	2.1
母子保健における食生活指導	2.1	36.2	44.7	12.8	4.3
思春期の栄養	2.1	34	40.4	19.1	4.3
家族の中の問題	2.1	29.8	48.9	14.9	4.3
経済学の基礎理論	2.1	27.7	48.9	17	4.3
家族変貌と援助の理念	2.1	27.7	48.9	17	4.3
大企業の産業保健活動	2.1	25.5	48.9	21.3	2.1
女性と家族	2.1	14.9	53.2	27.7	2.1
授業のデザイン	2.1	14.9	44.7	31.9	6.4
山谷の暮らしと家族	2.1	12.8	40.4	42.6	2.1
思春期臨床におけるカウンセリング	0	53.2	23.4	19.1	4.3
保健機能食品制度	0	42.6	40.4	12.8	4.3
栄養アセスメント	0	40.4	42.6	12.8	4.3
ソーシャルワークの概要と諸外国の現状	0	40.4	34	23.4	2.1
行政学概論(2):官僚制論の諸相	0	34	51.1	12.8	2.1
代用糖の基礎とう触予防	0	34	42.6	19.1	4.3
家族をめぐる法律	0	31.9	40.4	23.4	4.3
身体発育とその評価	0	29.8	40.4	25.5	4.3
消費者	0	29.8	36.2	27.7	6.4
女性と開発	0	25.5	42.6	27.7	4.3
家族生活モデルからとその問題	0	14.9	53.2	25.5	6.4
助産学教育の現状と課題	0	10.6	51.1	34	4.3
用度(資材・調度)	0	6.4	48.9	40.4	4.3
小説の中の家族	0	4.3	31.9	59.6	4.3

研修内容優先度検討のための調査票および結果

トップマネージャー(2回目)

科目内容	優先度	(%)					
		非常に重要	まあ重要	あまり重要ではない	ほとんど必要ない	無記入	
健康危機管理		77.8	22.2	0	0	0	
予算のしくみと施策化の方法		77.8	19.4	2.8	0	0	
ヘルスプロモーション		77.8	13.9	8.3	0	0	
ヘルスプロモーションの実践的理解と健康づくりの政策の転換		72.2	27.8	0	0	0	
ヘルスプロモーション活動の評価		69.4	27.8	2.8	0	0	
市町村におけるヘルスプロモーション推進と保健所の役割		69.4	22.2	8.3	0	0	
保健所長の実務		63.9	30.6	2.8	2.8	0	
新興・再興感染症		58.3	38.9	2.8	0	0	
公衆衛生政策論		58.3	38.9	2.8	0	0	
計画の評価		58.3	38.9	2.8	0	0	
感染症対策概論		58.3	36.1	5.6	0	0	
住民参加の健康づくり		55.6	41.7	2.8	0	0	
結核感染症対策		52.8	41.7	5.6	0	0	
保健計画論		50	47.2	2.8	0	0	
公衆衛生行政		47.2	50	2.8	0	0	
健康日本21		47.2	47.2	2.8	2.8	0	
保健計画・事業計画策定の実際		44.4	50	5.6	0	0	
保健活動評価		44.4	47.2	8.3	0	0	
医療計画論		38.9	52.8	8.3	0	0	
公衆衛生関連法規		38.9	47.2	13.9	0	0	
EBHP		36.1	58.3	5.6	0	0	
EBMから見た生活習慣病対策		33.3	61.1	5.6	0	0	
主体的な健康づくり能力の開発支援		33.3	58.3	5.6	2.8	0	
地方自治制度		33.3	55.6	11.1	0	0	
医療の現状と課題		33.3	50	13.9	2.8	0	
プライマリー・ヘルス・ケア		30.6	58.3	11.1	0	0	
新しいニーズへの多様な支援1(うつ病):産業保健との連携		30.6	52.8	13.9	2.8	0	
思春期の若者の性の性の実態とその対策		30.6	44.4	22.2	2.8	0	
地区組織活動の現状評価と方向性検討		27.8	61.1	11.1	0	0	
保健所における精神保健活動		27.8	61.1	8.3	2.8	0	
市町村支援における保健師の役割		27.8	58.3	8.3	5.6	0	

非常に重要
 まあ重要
 あまり重要ではない
 ほとんど必要ない
 無記入

